

財政状況お知らせ

問 財政課 ☎52-2113

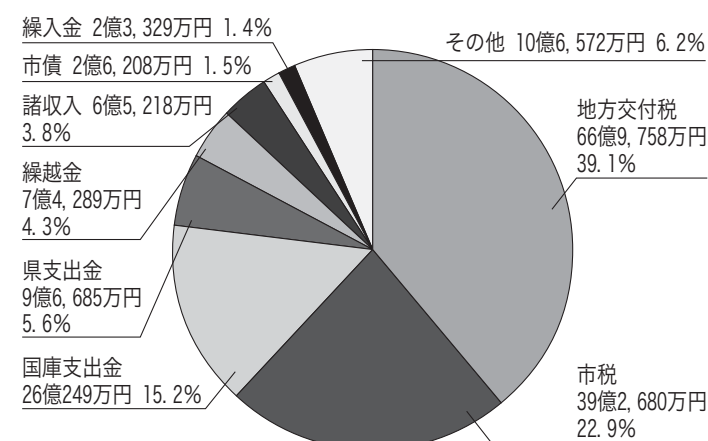
市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金で成り立っています。平成21年度も貴重なお金を有効に使えるよう、やり繰りの財政状況のあらましをお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

一般会計は黒字見込み

一般会計歳入

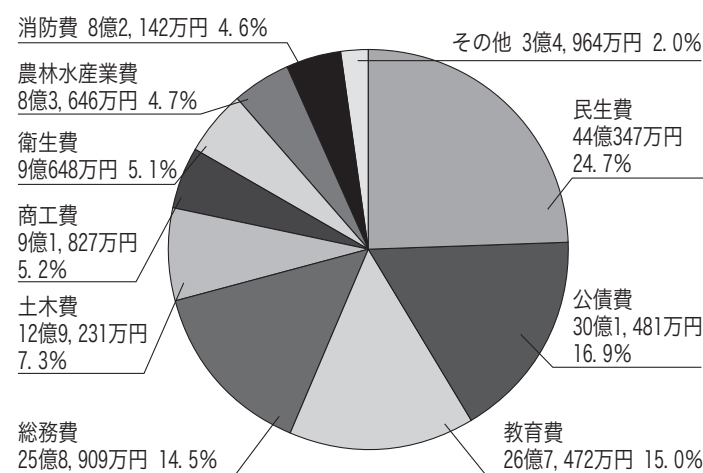
●予算額 219億518万円



●3月31日現在、収入済み額 171億4,988万円 (執行率78.3%)

一般会計歳出

●予算額 219億518万円



●3月31日現在、支払い済み額 178億 667万円 (執行率81.3%)

市の財政には3種類

市の財政は、基本となる「一般会計」と、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公営企業会計」の3つの会計で成り立っています。これらは4月から翌年の3月までが一区切りです。一般会計と特別会計は5月中旬に収入と支出の整理を行い、最終的な決算をまとめます。3月31日現在でまとめた平成21年度の財政状況は、上の

一般会計は219億

一般会計の最終予算額は、219億518万円(前年度からの繰越分を含む)。平成20年度の223億5582万円と比べると4億5064万円の減となっています。最終予算額に対する執行率は、歳入が78.3%、歳出が81.3%で、入ったお金より使ったお金の方が多くなっていますが、過去3年の最終的

本年度もやり繰りを

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国から配分される地方交付税に支えられています。大切なお金を有効に使って、より住みやすいまちを実現できるよう、本年度もやり繰りしながら事業を進めていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

な執行率を平均すると、歳入は97%で歳出は94.7%。平成21年度も過去3年と同じような執行状況ですので、最終的には歳入が歳出を上回るこゝとが見込まれます。次に特別会計を見てみましょう。市には国民健康保険や公共下水道など10種類の特別会計があります。合計の予算額は74億3292万円。執行率は収入が67.2%、支出が85.3%となっています。最後は公営企業会計です。水道事業会計がこれにあたります。皆さんからいただく水道料金を主な収入として、水道水をつくり、水道施設

特別会計

●予算額 74億3,292万円

会計名	収入済額	支出済額
土地取得事業	2,396万円	2,396万円
国民健康保険	36億4,083万円	39億1,402万円
国保診療施設	1億4,437万円	2億5,854万円
老人保健	331万円	275万円
後期高齢者医療	1億5,690万円	2億1,580万円
介護サービス事業	5,892万円	7,904万円
魚市場事業	1,016万円	2,656万円
漁業集落排水事業	4,040万円	2億2,550万円
公共下水道事業	9億1,906万円	15億9,152万円
合計 (予算の執行率)	49億9,791万円 (67.2%)	63億3,769万円 (85.3%)

公営企業会計

●会計名 水道事業会計

区分	収入済額	支出済額
収益的収支	7億2,376万円	7億 899万円
資本的収支	4億1,675万円	5億8,251万円

用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

- 【収入の関係】
- ▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもたっています
 - ▶国庫支出金=国と地方が協力して行う公共事業や社会保障、教育などの財源に充てるため、国が支出するお金です
- 【支出の関係】
- ▶民生費=福祉や子育てを支援するために使うお金
 - ▶公債費=市の借金返済などに使うお金
 - ▶教育費=学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
 - ▶総務費=市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
 - ▶土木費=道路や公園などの整備や補修に使うお金
 - ▶商工費=商工業や観光を促進するために使うお金
 - ▶衛生費=健康の増進や環境を保全するためなどに使うお金
 - ▶農林水産業費=農林水産業の振興などに使うお金
 - ▶消防費=消防や災害対策などのために使うお金

